

# 総務教育常任委員会資料

(平成24年11月28日)

## 【件名】

- 1 「子どもたちの未来のための教育」に関する知事と鳥取県教育委員との協議  
について（未来戦略課、教育総務課）…………… 1
- 2 ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典への参加結果について  
（交流推進課・教育総務課）…………… 4
- 3 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 7
- 4 「相談窓口カード」の配付について（教育センター）…………… 8
- 5 高校生まんが王国とっとり応援団等の取組について（高等学校課）…………… 9
- 6 県選択無形民俗文化財「弓浜半島のトンド」調査報告書について（文化財課）… 11
- 7 国史跡「青谷上寺地遺跡」における古代「山陰道」と考えられる道路遺構の発見  
について（文化財課）…………… 15
- 8 第67回国民体育大会知事表彰式の開催について（スポーツ健康教育課）…………… 20

教育委員会

# 「子どもたちの未来のための教育」に関する知事と鳥取県教育委員との協議について

平成24年11月28日  
未 来 戦 略 課  
教 育 総 務 課

「鳥取県の子どもたちの未来のための教育に関する協約（教育振興協約）」（本年3月28日に締結し、8月31日に改訂）に位置づけられた各種施策の進行状況や効果を点検するとともに、新たな課題への対応を検討するため、下記のとおり協議を行いました。

## 1. 協議日程等

- (1) 日 時 10月31日（水） 午後1時～1時45分  
(2) 場 所 第四応接室（県庁本庁舎）  
(3) 出席者 鳥取県知事 平 井 伸 治  
鳥取県教育委員会委員長 笠 見 幸 子  
※委員長ほか各教育委員が出席（一名欠席）

## 2. 協議の概要

- (1) 平成24年度教育振興協約の施策執行状況にかかる中間点検  
県教育委員会による自己評価のポイントは次のとおり（別添資料参照）。

### ① 取組指標について（協約に位置づけた数値目標）

- 概ねの数値を達成済み。
- 進捗が芳しくない指標は、次の2項目。  
\* 児童生徒の不登校出現率（特に中学校は出現率は改善するものの、全国平均を上回る）  
\* 児童生徒の体力調査結果（全体的に悪化傾向）

### ② 教育振興施策について（協約に位置づけた5つの施策）

- 評価結果は次のとおり。（A～Dの4段階で評価）  
→A：順調な成果、B：一部に成果、C：取組みは進めているが未成果、D：一層の取組みが必要
- 「学びの質を向上」及び「いじめ対策」の2施策について、成果が出ていないと評価。

施策	評価
① 学びの質を向上	C
② 不登校対策への取組み	B
③ 特別支援教育の充実	B
④ 心身の健やかな育ちを支援	B
⑤ 総合的ないじめ対策	C

### (2) 課題への今後の取組み

以下3点について確認した。

- ① 学力向上対策について、義務教育課程における少人数学級導入も活かして、学校現場が主体性を持ちながら、より具体的な動きを展開していくこと。
- ② いじめ問題対策について、県内における具体的発生事案を踏まえ、学校現場での指導力向上に向けた対策を強化していくこと。
- ③ 上記対策の強化を含め、学校現場の主体性・活性化を進められる教育行政のあり方を検討し、教育振興協約の次年度見直しにつなげていくこと。

教育振興協約の評価(中間)

評価指標  
 A: 実現に向け順調に進んでおり、成果が出ている。  
 B: 実現に向け少しずつ進んでおり、一部でも成果が出始めている。  
 C: 実現に向け取組は進んでいるが、まだ、成果が出ていない。  
 D: 実現に向け一層の取組が必要

【協約に掲げた施策の概評】

- ・各振興施策ごとに積極的に取組を進める一方、目に見えぬ成果は限定的
- ・取組指標の達成状況は、一部を除き、概ね9割を超える状況
- ・9月に実施した学校関係者のアンケートでも「大変効果がある」及び「ある程度の効果がある」との意見が大勢
- ・指標について、市町村教委、学校、県教委の共有の達成目標として意欲を持って取組め、且つ成果を計れる指標の選択及び決定過程が必要

政策項目	指標の評価	取組みの状況等	総括評価	今後、取組むべき施策
1 少人数学級の全面実施を機に、幼稚園・保育所から高等学校まできめ細かな教育や教育現場の活性化に取り組み、子どもたちの「学びの質」を高めます	a	○取組は順調に進んでいる。一方で、学力の向上など具体的な成果が見えにくい。 ○授業改革に向けて、研究主任・研究推進責任者の研修会やアンケートを実施し、各学校でも授業改革に向けた取組みの動きが出始めた。 ○今後、少人数学級、スクラム教育等の成果検証が必要。	C 実現に向け取組は進んでいるが、まだ、成果が出ていない	○最新の学習科学に基づく授業づくりと各学校での実践 ⇒協同学習、ICTなどを活用した児童生徒の活動を通じて学ぶ学習の提案 ○家庭、地域の教育力の発揮
2 近年の子どもたちの不登校の状況を踏まえ、未然防止・早期対応・登校支援の各段階に応じた不登校対策に取り組みます	b	○中学校:H22年度まで上昇傾向を続けていた出現率が、H23年度より減少傾向に転じ、H24上半期で、さらに押さえ込みに成功している。 ○小学校:前年度並みで推移している。 ○高等学校:一部の学校で著しく増加した。その他の学校では、前年度並みで推移。	B 実現に向け少しずつ進んでおり、一部でも成果が出始めている	○早期対応の徹底と相談体制の充実 ⇒7日間調査の継続 ⇒SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置拡大
3 特別な支援を必要とする子どもたちへの教育を充実させます	a	○年々増加する特別な教育的支援を必要とする生徒(H24年度は、H21年度の2倍)に対し、教育支援計画の作成や中学校から高校への教育支援計画の引継など、きめ細かな対応ができてきている。 ○個々の生徒の状況が多様であり、全ての生徒に十分な対応ができていないと言えない。 ○県立琴の浦高等学校の開校準備は順調である。 ○県西部地区における病弱の特別支援学校高等部の設置については、検討委員会を設置し、検討を進めることとしている。	B 実現に向け少しずつ進んでおり、一部でも成果が出始めている	○個々の児童、生徒に対応した支援 ⇒医療的ケアを必要とする児童生徒の通学支援 ⇒ICT機器の効果的活用による子どもたちの学びの質の向上
4 子どもたちの文化・芸術活動やスポーツの振興を図り、創造力や体力を養うなど、心身の健やかな育ちを支援します	a	○授業等での芸術活用の動きが見えてきた。 ○県内4市町村においては、学童保育に通う児童に対してスポーツの指導者を派遣し、運動機会の提供するなどの動きが見られる。 ○小学校体育専科教員の配置校では、「運動が好き」、「体育の学習が楽しい」と感じている児童、また、「運動の技術的な指導のポイントがわかる」と感じている指導者が増加。また、運動に進展を取り組む児童が増加。 ○岐阜国体では、少年の活躍がめざましく、4種目で全国1位の成績を上げた。	B 実現に向け少しずつ進んでおり、一部でも成果が出始めている	○体力テストから見える課題解決のための実践プログラムの開発 ⇒モデル校で課題に合わせた取組を実践
5 学校が子どもたちにとってより安心して通学できる場となるよう、総合的ないじめ対策に取り組めます	a	○一部の学校において、いじめを原因と思われる重篤な案件(被害届けが提出される事案、重傷を負う事案)が発生した。 ○具体的事案に、県教委と市町村教委が連携しながら対応できている。 ○いじめの把握が不十分な実態が見えており、教員の感度を上げる取組みやhyper-QUの活用を個別の指導に生かす取組みが必要	C 実現に向け取組は進んでいるが、まだ、成果が出ていない	○教員の資質及び感度の向上 ⇒hyper-QUの有効活用 ⇒管理職への研修の充実

「鳥取県の子どものための未来のための教育に関する協約」に位置づけられた取組指標

平成24年10月31日現在

取組の指標	指標の内容(意味)	H24 目標数値	協約締結時の数値	参考数値 (全国数値 等)	備考	評価(9月)		
						数値	達成率	
授業改革に取り組む中学校区数	授業改革に取り組む「少人数学級を活かす学びと指導の創造事業」に参加する中学校区数。	21校区	0校区 (H23)	—	平成24年度新規事業	21校区	100.0%	
授業改革に取り組む教育研究団体数	授業改革に取り組む「少人数学級を活かす学びと指導の創造事業」に参加する教育研究団体数。	17団体	0団体 (H23)	—	平成24年度新規事業	17団体	100.0%	
高等学校における学力向上推進モデル校数	平成23年度の高等学校学力向上推進委員会が出された提言を踏まえ、学力向上に向けた具体的な取組を行う指定校数。	10校	0校 (H23)	—	平成24年度新規事業	11校	110.0%	
学校支援ボランティアの実施市町村数	地域資源である学校支援ボランティアを活用する「地域で育む学校支援ボランティア事業」及び「学校支援地域本部事業」に取り組む市町村(学校組合を含む)数。	15市町村	12市町村 (H23)	—	H23実施学校数109校(小76校、中32校、特支1校)	15市町村	100.0%	
児童生徒の不登校出現率	児童生徒100人当たりの不登校者数比率。 不登校者数：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者	全国平均を下回る	鳥取県(H22)		現在、小学校の不登校出現率は全国をやや上回り横ばい。中学校は平成21年度に全国平均値を上回り、増加傾向にある状況。	(H23速報値)参考数値		
			小学校	0.33%		0.33%	0.34%	97.1%
			中学校	3.14%		2.64%	2.87%	92.0%
			高等学校	1.61%		1.88%	1.83%	102.7%
中学校から高等学校への個別的教育支援計画の引継率	特別な支援を要する生徒について、生徒の指導、支援の充実のために必要となる学校や関係機関、保護者が連携して個別的教育支援計画(※)を作成し、且つ高校進学時に学校間で情報の円滑な引継を行った率。  (※)特別な支援を必要とする子どもに一貫した支援を行うために作成するもの	50%	47.3% (H23)	—	発達障がい等のある特別支援を必要とする生徒数は年々増加しているが、学校間で必要な個人伝達が十分になされとは言えない。	53.7%	107.4%	
特別支援学校高等部の就職希望者の就職率	就職先の確保が特に困難な特別支援学校卒業生のうち、就職を希望する者に対する就職した者の率。特別支援学校の生徒は、障がい等により就職を希望しない生徒もいることから、本数値を使用。	80%以上	79.1% (H22)	同様な全国数値はなし	障害のある生徒の就職率は、生徒の個別の状況などにより、年により変動するため、指標を80%以上とした。  <参考> H20：71.4% H21：73.9%	(H23) 88.9%	111.1%	
近畿高等学校総合文化祭への参加部門率	近畿高等学校総合文化祭における、開催部門に対する鳥取県が参加した部門の割合。全国や近畿、中国ブロックの大会に出場できる文化部活動の活性化が期待される。	90%	86% (H23)	—	平成27年度の近畿高等学校総合文化祭鳥取大会では、開催県として全ての部門に参加する。	100.0% (15/15部門)	111.1%	
学校給食用食材の県産品利用率	学校給食に使用する食材に対する、児童生徒の健全な心身の成長に資する安心安全な県産品食材を利用する割合。	60%以上で向上を図る	62% (H22)	—	既に60%以上を達成しているが、さらなる上積みを目指す。	(H24第1期)数値は、従来の県内産食材利用率に「県内加工」利用率を加えたもの 66%	110.0%	
児童生徒の体力調査結果	50m走及びホール投げ(小学5年生、中学2年生)の体力調査の平均記録	親世代(S53~57)の平均値に近づける	現在の児童生徒(H22)		親世代	児童生徒の体力は全国的と比較すると概ね上回っているものの、親世代(S53~57)と比較すると低い状況にある。	(H24)	
			50m走	小5男子 9.36秒 小5女子 9.57秒 中2男子 7.93秒 中2女子 8.83秒				
			ホール投げ	小5男子 26.0m 小5女子 15.4m 中2男子 20.9m 中2女子 13.4m	31.0m 17.6m 22.3m 14.5m	24.09m 14.19m 20.92m 13.00m	77.7% 80.6% 93.8% 89.7%	
鳥取県いじめ対策指針	いじめの問題に早期に、的確に対応するための環境を整える。	10月末までの改訂	19年に作成し、その後改訂なし	—		10月31日改訂	100.0%	
子どもの悩みサポートチーム	・教員の対応力の向上 ・専門家の知識の活用 ・相談しやすい相談窓口の拡充	9月末までの設置	学校問題解決のための専門家派遣あり	—	8月31日協約改訂	9月28日設置	100.0%	
いじめメール相談専用窓口		9月中旬までの開設	メール相談は、教育相談の一部で対応	—		9月19日開設	100.0%	

# ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典への参加結果について

平成24年11月28日  
交流推進課  
教育総務課

ブラジル鳥取県人会が今年で創立60周年を迎えることから、これまでの活動に祝意を表するとともに、今後の活動の応援や、県人会関係者等との交流を深めるため訪問団を派遣しました。

## 1 訪問団

- 【鳥取県】知事部局（藤井副知事、交流推進課2名）、教育委員会（生田教育次長）  
県議会（伊藤議長、横山議員、砂場議員、議会事務局職員1名）
- 【市町村】鳥取市（深澤副市長、中西市議会議長ほか3名）、米子市（野坂市長ほか1名）
- 【民間】鳥取ブラジル交流団体連絡協議会会員等12名

## 2 訪問日程

月 日	行 程
11/15（木）～16（金）	終日 移動日（関空→サンパウロ） 【サンパウロ泊】
11/17（土）	AM 開拓先没者慰霊碑参拝（イビラプエラ公園） PM 「サンパウロ-鳥取友好の森」記念植樹式典 （サンパウロ州環境局森林院森林公園内） ブラジル鳥取県人会主催歓迎会 【サンパウロ泊】
11/18（日）	AM 県人会創立60周年記念式典（ブラジル-鳥取交流センター） PM 創立60周年祝賀会・アトラクション 夕方 鳥取県派遣経験者との意見交換会 （県費留学生・技術研修員OB・中堅リーダー等） 【サンパウロ泊】
11/19 （月）	AM 移動（サンパウロ→アリアンサ） PM 第二アリアンサ鳥取村視察・交流 【アリアンサ泊・ホームステイ】
11/20 （火）	AM 移動（アリアンサ→サンパウロ） PM 在サンパウロ日本国総領事館表敬訪問 【深夜便にて出国】
11/21（水）～22（木）	終日 移動日（サンパウロ→関空） 【機内泊】

## 3 結果概要

### (1) 「サンパウロ-鳥取友好の森」記念植樹式典

- ブラジル鳥取県人会創立60周年記念行事の一環として、ブラジル大西洋海岸林の代表的な樹木60品種・約300本を県人会員及び訪問団一同で植樹を行うとともに、訪問団を代表して伊藤議長が挨拶を行った。
- また、ブラジルと鳥取県との交流が末永く続くことを願い、鳥取県から記念品として贈呈する「麒麟獅子」の頭をモチーフとした木工品の披露が行われた。

### (2) ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典

- 県人会の活動拠点である「ブラジル-鳥取交流センター」において開催された記念式典において、平井知事のビデオメッセージを放映するとともに、伊藤議長、藤井副知事などが県人会に対し祝辞を述べ祝意を表した。
- ブラジル鳥取県人会長からは、母県からの支援や交流活動に対する謝意が述べられるとともに、今後も引き続きの支援、交流継続を依頼された。
- また、式典の中で、永年の県人会活動に功績のあった特別功労者2名、功労者8名、高齢者2名の知事表彰を行い、副知事から表彰状と記念品を伝達した。

○午後の祝賀会では、県人会所属サークルの芸能披露等が行われ、藤井副知事ほか訪問団もしゃんしゃん傘踊りや、銭太鼓の披露を行い、県人会員との懇親を深めた。

### (3) 鳥取県派遣経験者との意見交換会

○県費留学生、技術研修員、中堅リーダー交流事業の成果がどう役立てられているかを検証し、今後の事業運営に反映させるため、これまで鳥取県に来県したことのある者（22名）との意見交換会を実施した。

○代表で挨拶を行った、元研修生・留学生からは、鳥取県での経験がブラジルでの業務や県人会活動に活かされていることが報告され、今後も制度継続を求める旨発言があった

○中堅リーダー派遣経験者は、県人会の要職を務めるとともに、元留学生・研修生も職業と掛け持ちしながら、県人会活動に積極的に関わっていることを確認した。

### (4) 第二アリアンサ鳥取村訪問

○1926年に鳥取県が開拓を行った第二アリアンサ鳥取村を訪問し、現地を視察するとともに、村民との交流を図った。

○本県から教員を派遣している「第二アリアンサ鳥取村日本語学校」において、生田教育次長による書道の特別授業を行い、生徒12名に「平和」という文字を指導した。また、これに合わせ持参した書道道具を日本語学校へ寄贈した。

## 【参考】

### ○ブラジル鳥取県人会の概要

(1) 設 立 昭和27年。鳥取大火への義捐金を集める活動がきっかけとなり、鈴木栄蔵（すずき えいぞう）氏、徳尾恒壽（とくお つねとし）氏の尽力により発足（義捐金は158万9千円集まった）

(2) 会 長 本橋幹久（平成21年2月～、8代目）

(3) 会 員 数 約380家族

(4) 活動状況 各種記念行事・会合・催し物等の開催、県人会誌の発行、母県との各種交流事業（留学生・研修員制度、中堅リーダー交流事業等）の実施、日本文化教養講座等

### ○第二アリアンサ鳥取村の概要

(1) 世 帯 数 30世帯 約120人

(2) 代表者等 第二アリアンサ自治会 会長 佐藤 勲  
ブラジル鳥取県人会第二アリアンサ支部 支部長 細田英夫

(3) 移住経緯 1926年（大正15年）に鳥取県がサンパウロ州ミランドポリス郡に3,000町歩の土地を購入して移住者を送り出した。この移住地にポルトガル語で「協同・同盟」を意味する「アリアンサ」という名称をつけた。

(4) 日本語教師の派遣概要

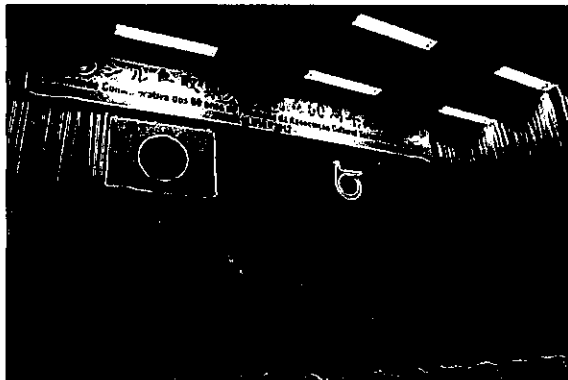
1994年度より第二アリアンサ鳥取村の日本語学校へ教師を派遣し、日本語指導や日本の社会事情・文化等に関する教育を行っている。



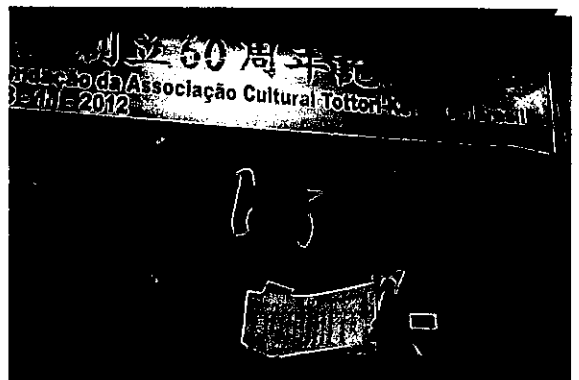
記念植樹式典での伊藤議長挨拶



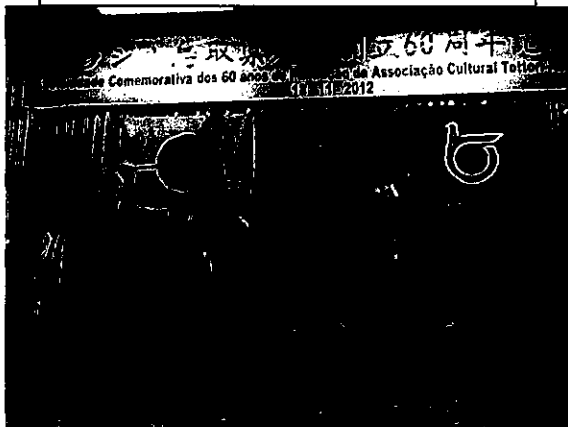
記念植樹式典での麒麟獅子頭除幕式



60周年記念式典での伊藤議長祝辞



特別功労者表彰 加藤前会長への授与



訪問団によるしゃんしゃん傘踊り披露



鳥取県派遣経験者との意見交換会



生田教育次長による書道の授業風景



第2アリアンサ鳥取村主催歓迎会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成24年11月28日  
教育環境課

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立鳥取商業高等学校特別教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市湖山町北二丁目	田中工業株式会社	契約金額 90,405,000円を 99,658,650円 (9,253,650円 増額)に改める。	平成24年3月9日～ 平成24年11月15日 (変更なし)	平成24年11月12日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁改修工事等の追加を行ったため。
県立鳥取湖陵高等学校管理棟耐震改修工事（建築）	鳥取市湖山町北三丁目	馬野建設株式会社	契約金額 193,620,000円を 195,370,350円 (1,750,350円 増額)に改める。	平成24年2月25日～ 平成24年10月30日 (変更なし)	平成24年10月23日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁改修工事の追加を行ったため。
県立鳥取緑風高等学校特別教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市湖山町南三丁目	株式会社ジュエケン	契約金額 113,801,100円を 114,418,500円 (617,400円増額) に改める。	平成24年3月23日～ 平成24年10月31日 (変更なし)	平成24年10月31日 (第2回変更)	(変更理由) 外壁改修工事等の追加を行ったため。
県立米子南高等学校管理教室棟耐震改修工事（建築）	米子市長砂町	有限会社松本組	契約金額 207,900,000円を 222,266,100円 (14,366,100円 増額)に改める。	平成24年3月13日～ 平成24年10月30日 (変更なし)	平成24年10月23日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁改修工事等の追加を行ったため。
県立境高等学校管理特別教室棟耐震改修工事（建築）	境港市上道町	境港土建株式会社	契約金額 102,585,000円を 107,568,300円 (4,983,300円 増額)に改める。	平成24年3月16日～ 平成24年10月10日 (変更なし)	平成24年10月9日 (第1回変更)	(変更理由) 屋根防水工事等の追加を行ったため。



# 「相談窓口カード」の配付について

平成24年11月28日  
教 育 セ ン タ ー

## 1 目的

いじめられている子どもも、いじめを発見した子どもも相談しやすいように「いじめ相談専用メール」を新設し、9月18日（火）から運用を開始している。このたび、以前から運用している相談電話「いじめ110番」や他機関の相談窓口も含めた「相談窓口カード」を作成・配付することで、相談窓口の周知を図り、いじめを早期に発見し適切な対応につなげる。

## 2 配付先等

- (1) 作成部数 100,000枚
- (2) 配付時期 平成24年11月中旬
- (3) 配付先 県内全ての児童生徒及び市町村（学校組合）教育委員会等の関係機関

## 3 「相談窓口カード」について

- (1) 規格 横折り名刺大4ページ

【イメージ】



- (2) 内容

- （新設）「いじめ相談専用メール」 [ijime@kyoiku-c.torikyo.ed.jp](mailto:ijime@kyoiku-c.torikyo.ed.jp)
- 「いじめ110番」 0857-28-8718（はな いっ ぱい）

## 高校生まんが王国とっとり応援団等の取組について

平成24年11月28日

高等学校課

### 1 高校生まんが王国とっとり応援団合同作品集の刊行

#### (1) 概要

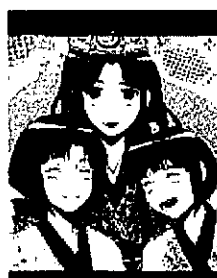
まんが王国とつとりを応援するため、県内高等学校の漫画研究部の生徒を中心として、漫画に興味のある生徒が「高校生まんが王国とっとり応援団」を結成し、様々な取組をしているところです。その一環として、このたび、高校生まんが王国とっとり応援団合同作品集『とりコレ』（とっとりコレクションの略）を刊行しました。

#### (2) 内容

作品集のテーマは応援団メンバーの話し合いにより鳥取の歴史・神話や観光・食に関するものに決定。7校51名の応援団メンバーがこのテーマに合わせて執筆しました。

完成した合同作品集は、県内の図書館や学校図書館等に配布し活用するとともに、国際マンガサミット会場にも展示しました。（第1巻、第2巻とも700冊ずつ制作）

	名称（テーマ）	内容
第1巻	とりコレ～歴史・神話編～	鳥取県にまつわる歴史、「因幡の白兔」や「打吹天女伝説」などの神話をテーマに執筆。
第2巻	とりコレ～観光・食編～	鳥取県内の観光名所や地元の食材をテーマに執筆。



### 2 龍谷大学と高校生のコンサート（吹奏楽フェスタ in まんが王国とっとり他）の実施

#### (1) 概要

平成27年度に鳥取県で開催される近畿高等学校総合文化祭に向けて、県内中学生・高校生が演奏力向上に取り組んでいるところですが、さらなるレベルアップを目指し、龍谷大学吹奏楽部とのコンサートを実施しました。

まんが王国建国イヤーにちなみ、アニメソングを盛り込み、鳥取県にゆかりの漫画家の作品である、ゲゲゲの鬼太郎や名探偵コナンに関する曲を演奏しました。

#### (2) 内容

日程	場所・時間	内容・参加者等
11月10日（土）		
① 龍谷大学吹奏楽部による中学校・高校生への演奏指導	鳥取城北高校 13:10～16:20	東部地区高校生を演奏指導 鳥取城北高校生徒約30名、鳥取東高校生徒約20名 龍谷大学学生50名参加

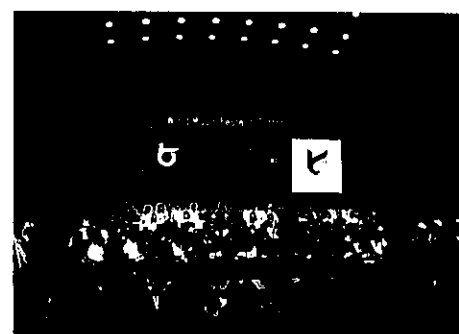
	倉吉総合産業高校 13:00~16:30	中部地区中学生・高校生を演奏指導 中学生 20 名、高校生 30 名、龍谷大学学生 50 名参加
② 国際マンガサミット 「ゲリラコンサート」	米子コンベンションセンター 屋外 14:00~14:15 他	米子北高校と龍谷大学による「アニメソングコンサート」告知コンサート
③ 国際マンガサミット 「アニメソングコンサート」	米子コンベンションセンター 小ホール 16:00~16:45	米子北高校と龍谷大学によるアニメソングコンサート
11月11日(日)		
「吹奏楽フェスタ in まんが王国とっとり」 コンサート	倉吉未来中心 14:00 開場 14:30 開演 17:15 終演	県内中学校選抜、鳥取東高校、倉吉総合産業高校、 鳥取中央育英高校、倉吉北高校、米子東高校、米子西高 校、米子南高校、龍谷大学によるジョイントコンサート



ゲリラコンサート  
(米子コンベンションセンター前)



アニメソングコンサート  
(米子コンベンションセンター  
小ホール)



吹奏楽フェスタ in まんが王国  
とっとり (倉吉未来中心)

# 県選択無形民俗文化財「弓浜半島のトンド」調査報告書について

平成24年11月28日  
文化財課

県西部弓浜半島を中心とする地域において、正月のトンドに際し神輿などが地域内を練り歩く、全国的に類例をみない独特の行事がある。

この「弓浜半島のトンド」に対し鳥取県は、平成23年に本県初の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択し、これに先立つ平成21年から4か年にわたって調査を実施してきた。

このたび下記のとおりその報告書を刊行し、都道府県や関係各機関に配布することで、本行事を広く認知してもらうほか、各実施団体が自身の行事内容を顧みるだけではなく、他地区の行事と比較することで改めて再認識する機会とする。

また発刊に合わせ、調査報告会を実施し、地域の方々にこの行事の意味や地域における重要性を知っていただき、今後の取組みを推奨することとする。

## 記

### 1 報告書

名 称 鳥取県文化財調査報告書第20集  
「弓浜半島のトンド」調査報告書

刊行日 平成24年11月30日

発行部数 500部

主な配布先 県内市町村教委、図書館、  
博物館、各保存会、  
行事实施区域の公民館 など

#### 内 容

弓浜半島を中心に89箇所で開催されているトンド行事について、現在行っている行事内容やその由来、および変遷などの詳細を調査。行事を行う組織の在り方や子供たちの関与、行列の構成や経路、神輿などの有無、またそうした神輿の形態など地区ごとで共通する部分と異なるものがあり、それぞれの特徴を抽出することができた。

さらに聞き取り調査等を通じ、行事担い手たちの意識や継続に対する取り組みなどが明らかとなり、今後の在り方について課題がみえるとともに、こうした地域で伝承されている行事が各地の生活文化の核となり、地域住民を結集する重要な要素となっていることがわかった。



### 2 調査報告会

日時 平成24年12月15日(土) 午後1時30分～4時

場所 鳥取県立夢みなとタワー3階 夢みなとシアター(定員200名)

講師 坂田 友宏(鳥取県文化財保護審議会専門委員)

鷹 理恵子(鳥取県文化財保護審議会委員)

対象 一般(米子市・境港市を中心に、実施団体を含む地域の方々)

# 目次

巻頭写真

ごあいさつ

鳥取県教育委員会 教育長 横濱 純一

凡例

はじめに 調査事業の概要

第1章 弓浜半島のトンド

坂田 友宏

第2章 各地の事例

第1節 調査対象地域の概観

第2節 調査報告

境港市渡地区

福代 宏

境港市外江地区

坂田 友宏

境港市余子地区

櫻村 賢二

境港市中浜地区

櫻村 賢二

米子市彦名地区

小林 光一郎

米子市崎津地区

吉村 風

米子市大篠津地区

谷阪 智佳子

米子市和田地区

小林 光一郎

米子市富益地区

高橋 舜夫

米子市夜見地区

齋 理恵子

米子市福生地区

齋 理恵子

米子市福米地区

齋 理恵子

米子市加茂地区

原島 知子

米子市河崎地区

土田 拓

米子市住吉地区

高橋 舜夫

米子市南部・南部町・伯耆町

坂田 友宏

第3章 付論

第1節 生活に根付いたトンド

齋 理恵子

第2節 建築学的見地からみたトンド神輿

松本 絵理

第4章 調査資料

第1節 詳細調査票

第2節 文献資料

原島 修

第3節 各地の神輿・小祠

第4節 神楽関係資料

第5節 類似する県外のトンド

参考文献

協力者一覧

おわりに

## 第2節調査報告 境港市余子地区

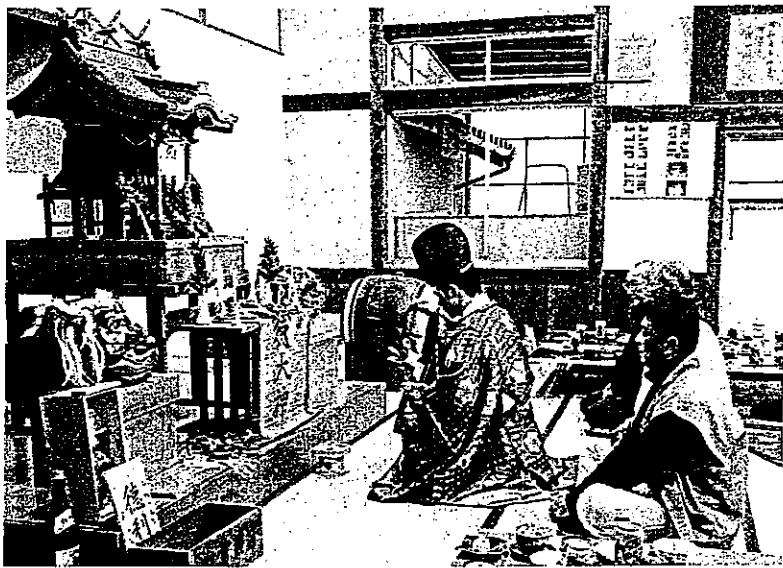
さかいみなと あまりこ

櫻村 賢二

## 1 概要

余子地区内には、高松町、竹内町、福定町、中野町、美保町の五集落がある。中野町は余子小学校区の中野上、上道小学校区の中野下に分かれてトンドを行っており、美保町は戦前に軍事関連の人たちが他地域から移り住んだ地区であり、トンドを実施してこなかった。よってトンド行事は高松町、竹内町、福定町、中野上、中野下の五地区で行われている。

福定町では、かつて上げ口、灘口の二カ所でトンドを行っていたというが、現在は福定町全体で行っている(福定自治会一九九〇「福定町誌まがりまつ」二五頁)。竹内町では、現在一月七日以降の日曜日(平成



竹内町の次の当屋を決めるくじ引きの様子

二三年は一月九〜一〇日)を中心に二日間に行われているが、かつては一月一四日にトンド焼き、一五日に神輿の町内回りをしていた。他の地区は、現在、正月第一、もしくは第二日曜に実施している。

## (1) トウヤ選び

竹内町では、トンドを行う組織を煤竹講と呼んでおり、中野下ではハン(班)、高松町ではスミ(隅)を単位に行い、トウ渡しをし

ている。

中野下では、かつては一月三日に広見神社において班から班へトウ渡しをしていた。

竹内町では前述のように二日間トンドを行うが、一日目の火入れが終わると、当屋の表座敷に神輿を入れて安置し、その前に置かれた三方に名前を書いたくじ(こより)五枚を置く。神輿の前でトンド屋(トンド行事一切を世襲で取り仕切る)が御幣でお祓いする。そのとき御幣でくじを払い上げて一番遠くに飛んだくじの家が次の当屋となる。次の当屋になる家へ長老二名が使者となりくじをもって当屋に選ばれたことを告げると、当屋になった家は承諾の旨を言い、豆腐二〇丁、酒二本をもって挨拶に行き、その豆腐で味噌汁をつくって酒宴がはじまった(余子公民館一九八五「竹の内伝承記」六三頁)。しかし現在ではトンド屋はトンドに関係しなくなり、当屋を決める宿も地区の会館で行われている。

高松町のトンドは四つの地区で順番に行われる。地区は隅という単位で表され、オオヤマズミ(大山隅)、ヤスギズミ(安来隅)、マクラギズミ(枕木隅)、セキヤマズミ(関山隅)の四地区である。隅の方角にある山などから名称がつけられているという。

## (2) トンド立て・火渡し

トンドを立てる場所は、トンド場と呼ばれ、かつては海岸であったが、埋め立てられ、境港市竹内団地ができたため、国道と団地の間にある松林内の広場で行っている。

竹内町では、松迎え行事として一月一日に神木となる松と竹を切り出す。神木は大小二本で、松の上部に竹を継ぎ四方に太縄で引合をとる。大きいトンドを親、小さいトンドを子と呼ぶ。小さい神木はその年の明き方(恵方)に立てる。トンド場には、地元ではキズキ(杵築)さんと呼ばれる社がある。竹内町の火入れは、前述のトンドの行事を世襲で一切指揮するトンドヤが行ってきた。火入れは恵方の方から行い、大団扇で「トンドヤ・マンド」と扇ぐと勢いよく燃え、その火で餅やミカンを

焼いて食べると病気をせず、火にあたると風邪をひかないという。(『竹の内伝承記』〇〇頁)

高松町は、太い孟宗竹がないので真竹を使った。真竹でも太いものは珍しいので、戦前子ども達はトンドの竹をなるべく燃やさないようにして、それを竹スキーにしたり、竹を割いて鳥かごをつくったりすることが楽しみだったという。

### (3) 神幸行列

竹内町は、トンド屋、獅子二匹、コッチン(御初穂、餅、米を入れる布袋をもつ役。また布袋自体もコッチンと呼ぶ)、大団扇、御幣、神輿、神楽(大太鼓、小太鼓、笛、すり鉦)、幟の順序で町内を練り歩く。当屋は、宮迎えの日までに、新しい幟二本、千早二枚(白と青)を奉納し、行列



竹内町のトンドと御輿

に使用する。

竹内町のトンドは、二日間の日程で、一日目は宿からトンド場に行列が行き、トンド場にあるキズキさんの社で神輿が一休みし、その後トンドの回りを行列が左回りに一回りすると火入れが行われる。そして神幸行列は当屋宿に戻る。二日目は町内をくまなく行列渡御し、獅子が門付けを行う。

竹内町以外は、神幸行列を行い、その後トンドの火入れが行われる。

高松町は現在、獅子、神幣、神輿、太鼓、幟、笛で行列し、町内を練り歩く。しかし獅子が加わったのが戦後のことであり、獅子が行列に入る前はお祓いも門付けもなかったという。

## 2 歳徳神の性格

### (1) 氏神との関わり

竹内町は稲田姫命、手摩乳命、脚摩乳命を主祭神とする余子神社、中野町は布都御魂命を祀る広見神社、高松町は素戔嗚命を祀る高松神社、福定町は磐長姫命を祀る福定神社が氏神となる。

みな『日本書紀』に登場しスサノオとの関連がある祭神が多いが、トンド行事との関連については不明である。

### (2) 子どもとの関わり

福定町では、以前正月二五日は天神さんの祭日で、福定の子ども達はこの日に二度目のトンドを行った。子ども達は正月一四日のトンドさんの神針をそのまま残して、大切に保管しておく。また、村内の神社や仏堂等に納められた注連縄や、家々の屋敷の注連縄を集めておく。これだけでは燃やす材が少ないので、さらに子どもの中の上級生は野原や松林に入って、小笹を刈って集めておく。二五日になると、それらを持ち寄ってトンドさんを飾り、子ども達だけでそれをはやす。それは一四日のトンドさんの三倍以上の大きなもので、盛大だった。これには全く大人の介入は許さない、少年達だけの運営で執行されたという。(『福定町誌まがりまつ』〇〇頁)

# 国史跡「青谷上寺地遺跡」における古代「山陰道」と考えられる道路遺構の発見について

平成24年11月28日  
文 化 財 課

## 1 概要

- 今年度の青谷上寺地遺跡第14次調査において、古代「山陰道」とみられる道路遺構を確認（県内では5遺跡目）。
- これまでの研究で想定されていた山陰道のルートにほぼ合致する位置にあたるもの。
- 造られた時期は8世紀～12世紀頃と推定。
- 道路の構造は、下部を粘土や粗朶（木の枝を束にした資材）で盛土し、路面を礫で舗装、法面に施工時の基準線もしくは土留めとみられる杭列を伴うもの。
- 昨年度調査した隣接地で確認された盛土遺構も同一のものと考えられ、これを含めると、道の幅約7.8メートルで、長さ約45メートルに渡って直線状に伸びている状況を確認。

## 2 「山陰道」と考えられる根拠

- 本遺構は、入念に構築された当時の「高規格道路」であり、古代では官道（駅路）以外の可能性は考えにくい。
- 付近で想定されている当時の「条里地割」と方向がほぼ一致する。（全国的にも、官道は条里地割の基準線となる例が多い）
- 歴史地理学の分析では、調査区付近（因幡国気多郡勝部郷）には官道の一拠点であるかしわお「柏尾駅」の存在が推定されるなど、以前から山陰道が調査区付近を通過するものと想定されていた。

## 3 発見の意義

- 古代山陰道のルートを研究する上で重要な発見。
- 全国の類例のなかで遺構の保存状態が最も良好。また、粗朶の使用が明らかになるなど、低地における官道の構造を土木工学的な視点から探るうえで重要な事例であること。
- 青谷上寺地遺跡が、弥生時代のみならず、古代の国家体制と地域社会を考えるうえでも重要な遺跡であることが分かったこと。

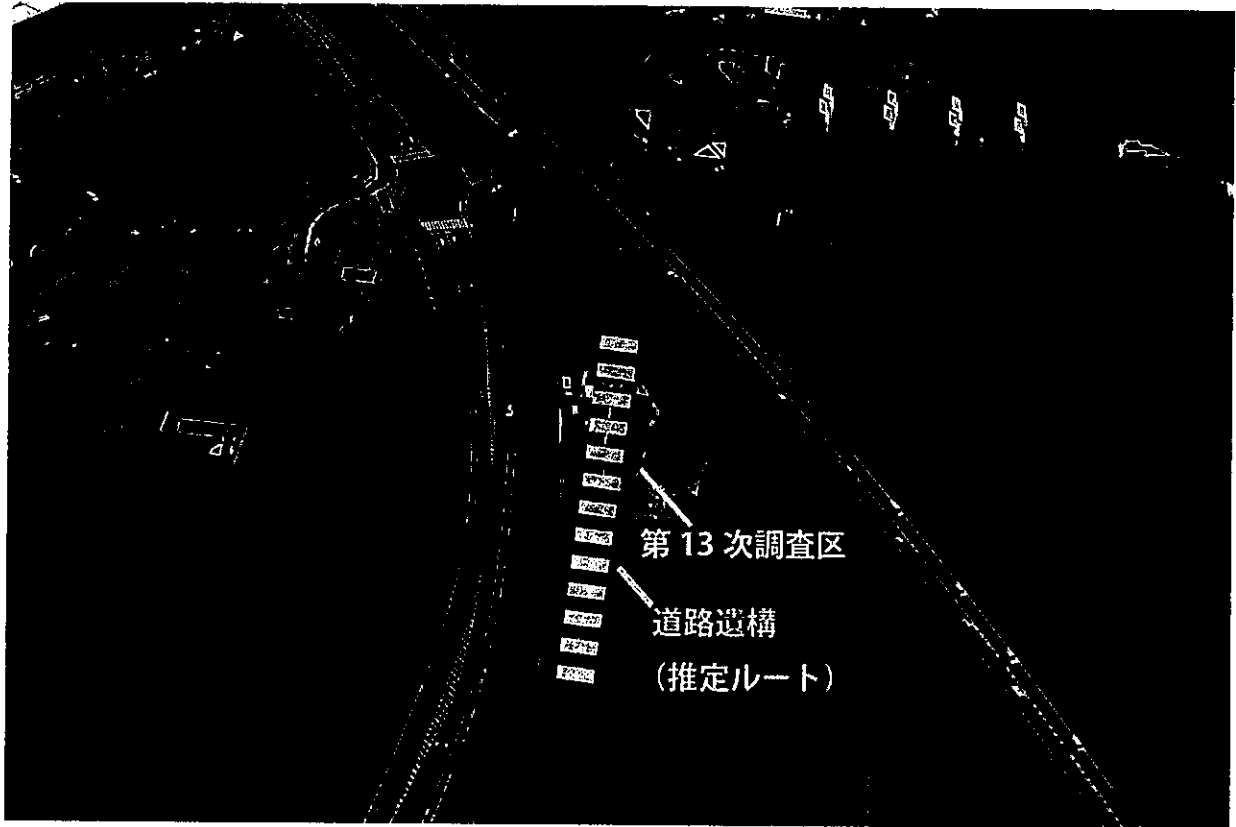
### 「山陰道」について

- ・古代、都と地方（国府）とを結ぶために整備された官道「七道駅路」のひとつ。  
七道駅路  
〔大路〕 山陽道  
〔中路〕 東山道・東海道  
〔小路〕 山陰道・北陸道・南海道・西海道
- ※「駅路」とは  
・律令に規定された都と地方との緊急通信手段。  
・路幅は広く、約12m（現在のほぼ4車線分、7～8世紀）から、約6m（9～10世紀）のものがある。  
・30里（約16km）ごとに「駅（うまや駅家）」を置き、規格に応じて馬が置かれていた。  
（大路：20匹、中路：10匹、小路：5匹）  
・駅は「駅鈴」の交付を受けた者のみが利用できた。

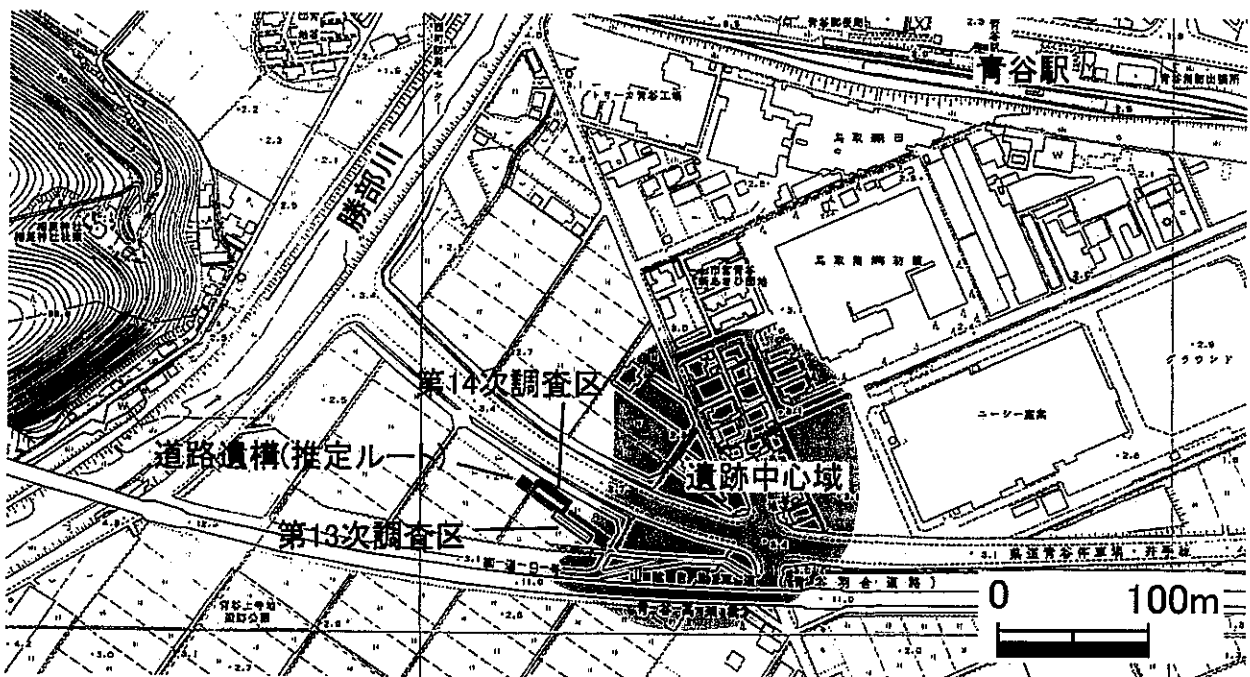


鳥取県内で発掘調査により見つかった山陰道とみられる遺構

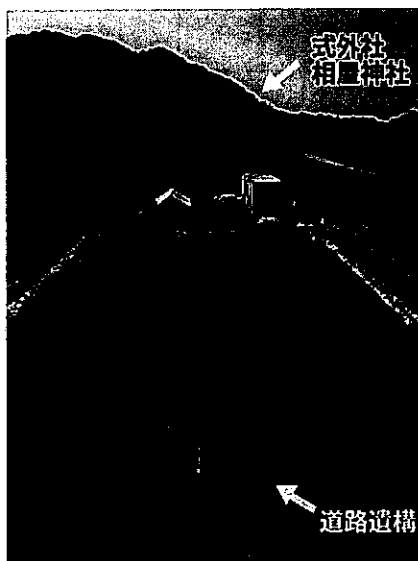
No.	旧国名	郡	市町村名	遺跡名	構造
1	因幡	気多郡	鳥取市	青谷上寺地遺跡	盛土工法+礫敷
2	伯耆	国府	倉吉市	河原毛田遺跡	側溝(2条)
3,4	伯耆	汗入郡	大山町	名和下菖蒲谷遺跡・西坪三軒屋遺跡	切り通し
5	伯耆	会見郡	米子市	橋本徳道西遺跡	波板状凹凸面



1 調査地周辺の様子



2 調査地位置図



【一般公開】平成24年10月27日(土)【参加者】202名

3 相屋神社遠景(南東から)

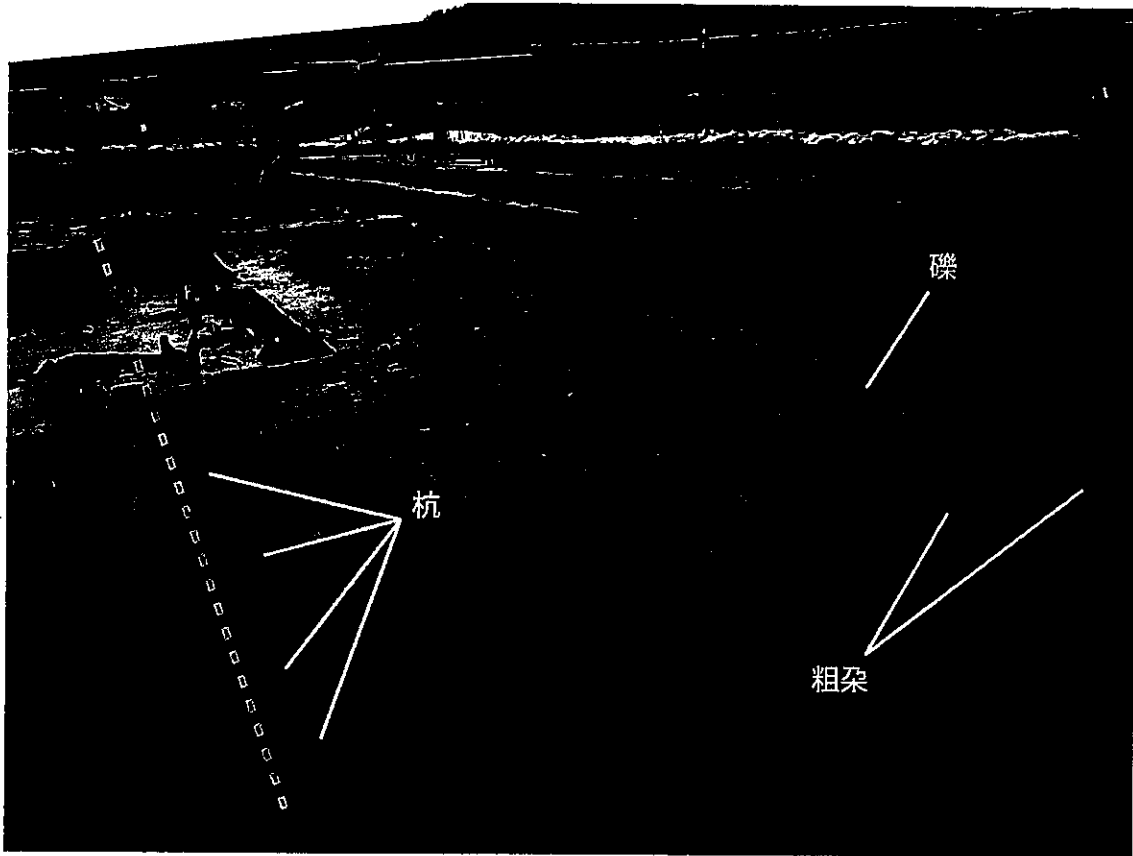


4 調査地周辺の地形図

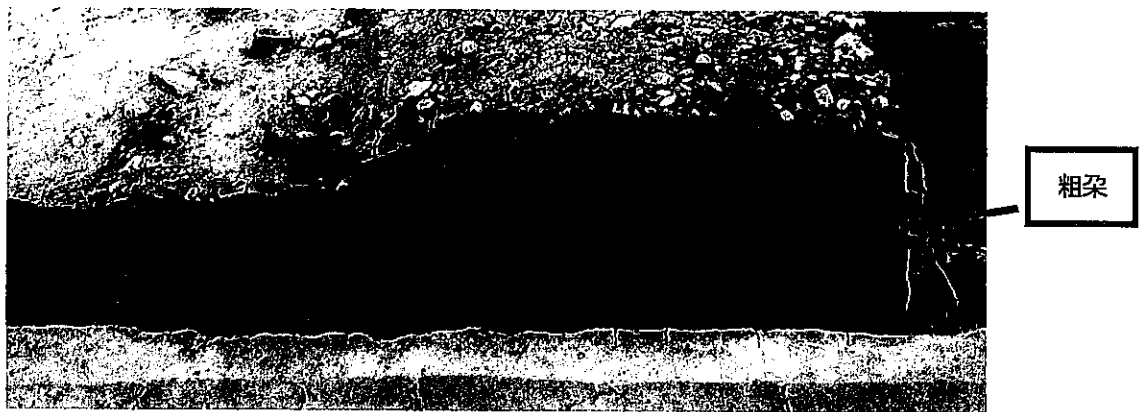
『延喜式』にみる因幡・伯耆の駅家(上が東、下が西)

国名	駅名	読み方※	駅馬数	主な比定地	備考
因幡	山崎	やまさき	八匹	岩美町長谷・岩井	
	佐尉	さい	八匹	福部村細川?	
	敷見	しくみ	八匹	湖山池南岸?	
	柏尾	かしわお	八匹	青谷町青谷	「相屋」の誤写か
伯耆	笏賀	くつが	五匹	泊村石脇(旧久津賀村)	石脇第3遺跡
	松原	まつばら	五匹	北条町松神、米里、倉吉市巖城	
	清水	きよみず	五匹	東伯町清水	
	和奈	わな	五匹	名和町長者原遺跡・馬郡遺跡	「奈和」の誤写か
	相見	おうみ	五匹	岸本町長者原付近(会見郡衙)	

※読み方は近江俊秀 2008『道路誕生 考古学からみた道づくり』(青木書店)による



5 道路遺構 (SF1) 検出状況 (北から)



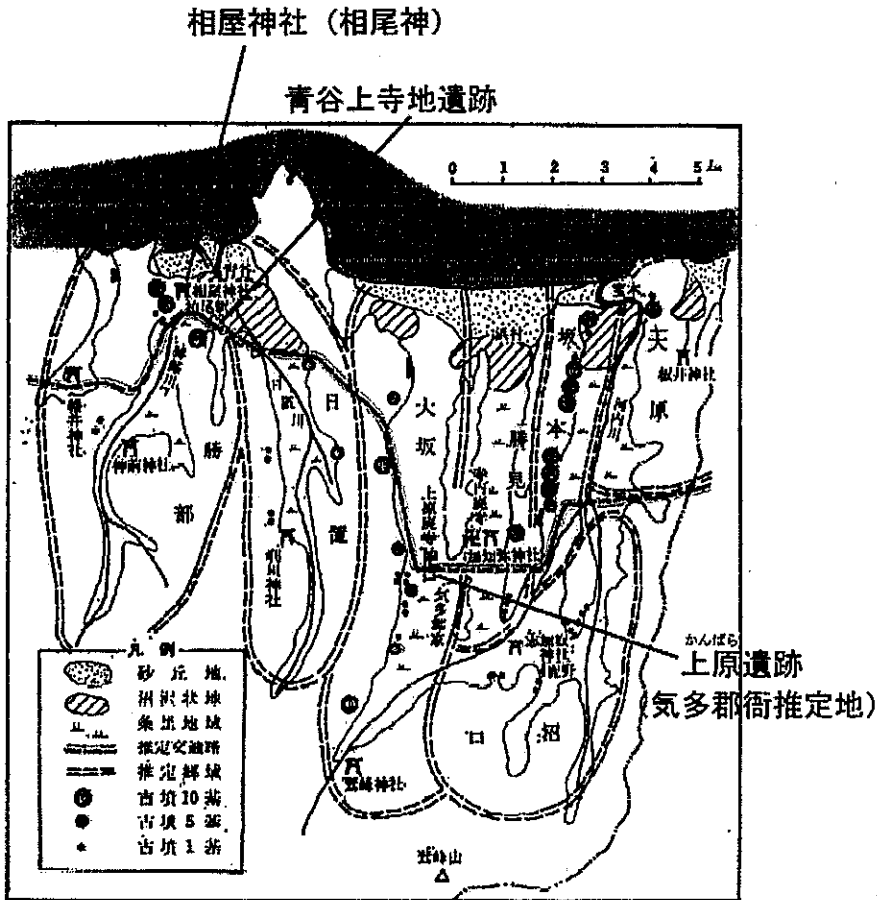
6 道路遺構 (SF1) 土層断面 (北西から)



7 粗朶検出状況 (南西から)



8 第13次調査での粗朶検出状況 (南西から)



(古墳分布は「全国遺跡地図」より作成)

### 氣多郡内の古代山陰道想定ルート

(中林保 1975 「因幡国氣多郡の条里と郡家  
—歴史地理学的試論—」『地方史研究』  
第25巻6号(138号)、地方史研究協議会  
を一部改変

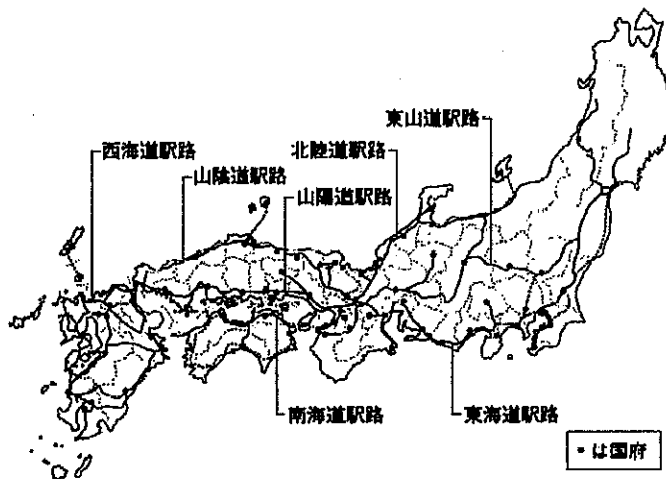


図18 延喜式の七道駅路【延喜式】に見られる駅路は平安京に都が移った後のものである。そのため奈良時代の路線とは異なる部分も多い。たとえば同書に東海道に分類される武蔵国は、奈良時代には東山道であった。

### 延喜式に記された七道駅路

(近江俊秀 2012 『道が語る日本古代史』朝日選書 889、朝日新聞出版)

## 第67回国民体育大会知事表彰式の開催について

平成24年11月28日  
スポーツ健康教育課

第67回国民体育大会ぎふ清流国体で優秀な成績を収めた選手に対して下記のとおり知事表彰を行います。

### 記

- 1 表彰の期日 平成24年12月14日（金）午後3時から午後4時まで
- 2 表彰の会場 鳥取県庁講堂
- 3 表彰の対象 第67回国民体育大会の正式競技の種別又は種目において、8位までに入賞した個人競技及び団体競技の選手
- 4 被表彰者 被表彰者 選手66名
- 5 表 彰 入賞者には表彰状の授与と記念品の贈呈
- 6 そ の 他 入賞を出した監督には感謝状の授与と記念品の贈呈を行う

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」

【 知事表彰 受賞者一覧 】

No 1

競技名	名前	所属	種別	種目	順位
陸上	にしざわ まきのり 西澤 真徳	鳥取県教育委員会	成年男子	110mH	3位
	あこう ひろき 赤穂 弘樹	大阪体育大学		ハンマー投	7位
	こうりき ゆうや 高力 裕也	大体大TC		やり投	3位
	はぎはら くらら 萩原 くらら	鳥取県立 倉吉東高等学校	成年女子	走高跳	4位
	おぐら けんじ 小椋 健司	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	少年男子A	やり投	8位
	ふじい りょうた 藤井 亮汰	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	少年男子B	110mH	5位
	もりやま たいせい 森山 大成	鳥取県立境高等学校		走幅跳	6位
	まえかわ ゆき 前川 祐紀	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	少年女子A	3000m	6位
たなか はるな 田中 晴菜	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	少年女子共通	やり投	5位	
水泳	むら りゅうや 武良 竜也	米子北高等学校	少年男子B	100m平泳ぎ	1位
	いしだ かこ 石田 華子	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	少年女子B	100m平泳ぎ	5位
	やすなが げんき 安永 元樹	日本体育大学	成年男子	飛板飛込	4位
				高飛込	6位
飛込	うだ えりこ 宇田 恵理子	鳥取県立 米子西高等学校	少年女子	飛板飛込	8位
				高飛込	1位
ボート	もりた のぞみ 森田 望	早稲田大学	成年女子	ダブルスカル	2位
	とみた ちあき 富田 千愛	明治大学			
	ひしたに しんいちろう 菱谷 真一郎	鳥取県立 米子東高等学校	少年男子	ダブルスカル	8位
	ふるた なおき 古田 直輝	鳥取県立 米子工業高等学校			
	はまだ ゆき 濱田 有紀	鳥取県立 米子東高等学校	少年女子	ダブルスカル	6位
	あいみ はるな 相見 晴奈				

競技名	名前	所属	種別	種目	順位
ホッケー	ささき ほなみ 佐々木 歩波	鳥取県立八頭高等学校	少年女子	団体	5位
	なかお みほ 中尾 美穂				
	やまね けいこ 山根 圭子				
	ほり みほ 堀 美穂				
	ながおか まゆこ 長岡 真友子				
	かじもと えり 梶本 絵里	鳥取県立 倉吉西高等学校			
	こむら あやか 小村 彩華	鳥取県立八頭高等学校			
	いわき あやね 岩城 彩音				
	たなか ゆい 田中 優衣				
	さかうえ みな 坂上 美奈				
	まつもり ゆいこ 松森 結子				
	おおた まなえ 太田 愛依				
おくだ さき 奥田 早紀					
レスリング	あらき しゅうさく 荒木 秀作	鳥取県立倉吉養護学校	成年男子	フリースタイル55kg級	5位
	とくやま としのり 徳山 利範	山陰酸素工業(株)		フリースタイル96kg級	3位
	やまね わたる 山根 渉	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	少年男子	フリースタイル96kg級	5位
	やすだ なる 安田 成			グレコローマンスタイル 66kg級	5位
セーリング	ひらおか さき 平岡 沙希	鳥取県立境高等学校	少年女子	セーリング スピリッツ級	1位
	にしお ともみ 西尾 知美	米子工業高等専門学校			
ウエイト リフティング	ただ けいすけ 多田 圭佑	鳥取県立 米子工業高等学校	少年男子	53kg級(スナッチ)	2位
				53kg級(ジャーク)	6位
	ささき かずと 佐々木 和人	鳥取県立 鳥取湖陵高等学校		7.7kg級(スナッチ)	6位

競技名	名前	所属	種別	種目	順位
自転車	中尾 翔 なかお しょう		成年男子	スプリント	8位
	佐伯 亮輔 さへき しょうすけ	鳥取県立 倉吉高等学校	少年男子	1kmタイム トライアル	1位
相撲	石前 辰徳 いさへ たくのり	日本大学	成年男子	団体	5位
	伊藤 優 いとう ゆう	(公財)鳥取県体育協会			
	石浦 将勝 いしうら まさかつ	鳥取県相撲連盟			
	木嶋 信志 きじま のぶし	日本大学			
	佐々木 耕大 ささき こうだい	日本大学			
	石前 辰徳 いさへ たくのり	日本大学			
	横田 新樹 よこた しんじゅ		少年男子	団体	5位
	水田 健斗 みずた けんと				
	圓井 和希 まるい かずき				
	水田 健斗 みずた けんと				
	木嶋 伸之助 きじま しんのすけ	鳥取城北高等学校			
	中島 望 なかしま のぞみ				
	清家 隆志 せいか りゅうじ				
	パーサンスリン ・トウルボルト				
水田 健斗 みずた けんと		成年女子	団体	5位	
西川 由衣 にしがわ ゆい	パソニック鳥取				
井田 詩織 いだ しおり					
バドミントン	宮崎 優花 みやざき ゆうか		成年女子	団体	5位
	パーサンスリン ・トウルボルト				



競技名	名前	所属	種別	種目	順位
弓道	おぼら あやか 小原 綾佳	鳥取県立 倉吉西高等学校	少年女子	近的	3位
	よねはら あけみ 米原 朱美				
	てらじ りか 寺地 梨香				
山岳	たかた ともあき 高田 知堯	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	少年男子	リード	7位
	こうりき ひでゆき 高力 秀幸			ボルダリング	3位
カヌー	ふじい こうすけ 藤井 功輔	鳥取中部ふるさと 広域連合消防局	成年男子	スプリントC-1 500M	8位
				スプリントC-1 200M	7位
	えんどう えりこ 遠藤 絵里子	鳥取県教育委員会	成年女子	スラロームK-1 25G	7位
				スラロームK-1 15G	7位
アーチェリー	かわなか かおり 川中 香緒里	近畿大学	成年女子	個人	3位
空手道	うきみ りか 宇佐美 里香	鳥取県教育委員会	成年女子	形	1位

## (感謝状)

No.1

競技名		名前	所属	種別
陸上		ていし しょういちろう 手石 正一郎	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	男子
		たなか やすし 田中 康史	鳥取城北高等学校	女子
水泳	競泳	まきの かつみ 牧野 勝己	(一財) 鳥取県水泳連盟	男子
		おんだ しゅう 恩田 修	(株) パジャススポーツ	少年女子
	飛込	やすなが さぶろう 安永 三郎	鳥取県立境高等学校	全種別
ボート		てらい かずまさ 寺井 一正	鳥取県立米子東高等学校	成年女子
		かじたに ただし 梶谷 正志	鳥取県立米子工業高等学校	少年男子
		ささき ゆういち 佐々木 雄一	鳥取県立米子南高等学校	少年女子
ホッケー		やざわ こうすけ 矢澤 光介	鳥取県立八頭高等学校	少年女子
レスリング		いせ ともり 井勢 智則	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	成年男子
		すぎたに しのが 杉谷 忍	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	少年男子
セーリング		まつもと みつる 松本 充	米子工業高等専門学校	少年女子
ウエイトリフティング		つかだ けいすけ 塚田 啓介	鳥取県立 米子工業高等学校	少年男子
自転車		かねだ こうじ 金田 弘司	検査開発(株) 人形峠事務所	成年男子
		かわた たくや 河田 拓也	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	少年男子
相撲		おむら ひとし 小村 仁志	(公財) 鳥取県体育協会	成年男子
		いしうら ときよし 石浦 外喜義	鳥取城北高等学校	少年男子
バドミントン		やまもと あきよし 山本 明良	パナソニック鳥取	成年女子
弓道		ふくみつ ぜんた 福光 善太	鳥取県立 倉吉西高等学校	少年女子
山岳		やすい ひろし 安井 博志	鳥取県立 鳥取中央育英高等学校	少年男子

競技名	名前	所属	種別
カヌー	どい やすひろ 土井 康弘	鳥取県立 倉吉総合産業高等学校	成年男子
	ふくま たかし 福馬 孝司		成年女子
アーチェリー	やまね しゅんいち 山根 俊一	鳥取県立 倉吉農業高等学校	成年女子
空手道	やすもと けんじ 安本 賢史	鳥取県立白兔養護学校	全種別

【 知事表彰 受賞者一覧 】

順位	合計人数
1 位	6
2 位	4
3 位	9
4 位	3
5 位	32
6 位	5
7 位	3
8 位	4
合計	66名

※一人で複数の入賞がある場合は、上位入賞を優先した。

【 受賞者数一覧 】

	合計人数
入賞者表彰	66名
感謝状表彰	24名
合計	90名